

# 北アルプス(蝶ヶ岳・大天井岳・槍ヶ岳・穂高岳)生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署
所在地	長野県松本市、安曇野市
面積	7,161.15 ha
設定年月日	平成3年4月1日（平成30年再編）
保護林の概要 (設定目的)	奥穂高岳、槍ヶ岳等の我が国有数の山岳が連なる上高地上流部の地域は、涸沢カールをはじめとする氷河地形や、豊かな自然景観を誇っており、中部山岳国立公園の核となっているばかりでなく、我が国を代表する山岳景勝地である。コメツガ、シラビソ等から構成される亜高山帯、ハイマツ等から構成される高山帯、さらに高山植物群落がある。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を1プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	亜高山帯下部にはシラビソ、オオシラビソ、コメツガ、ネズコ等の常緑針葉樹林が見られ、その上部にはダケカンバ群落が分布し、稜線付近の高山帯にはハイマツ群落や雪田植生、風衝矮性低木群落等が確認された。過年度調査と比較して大きな変化は確認されず、保護林の健全性は保たれている。 当該保護林には日本百名山が3座あること、3,000m級の山々が連なることから登山者も多く、幕営地等の周辺において登山者による植生への影響に注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。